

はぐくみ

支え合うまち・京都

ほほえみプラン

わかりやすい版

このわかりやすい版は、「はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン」の

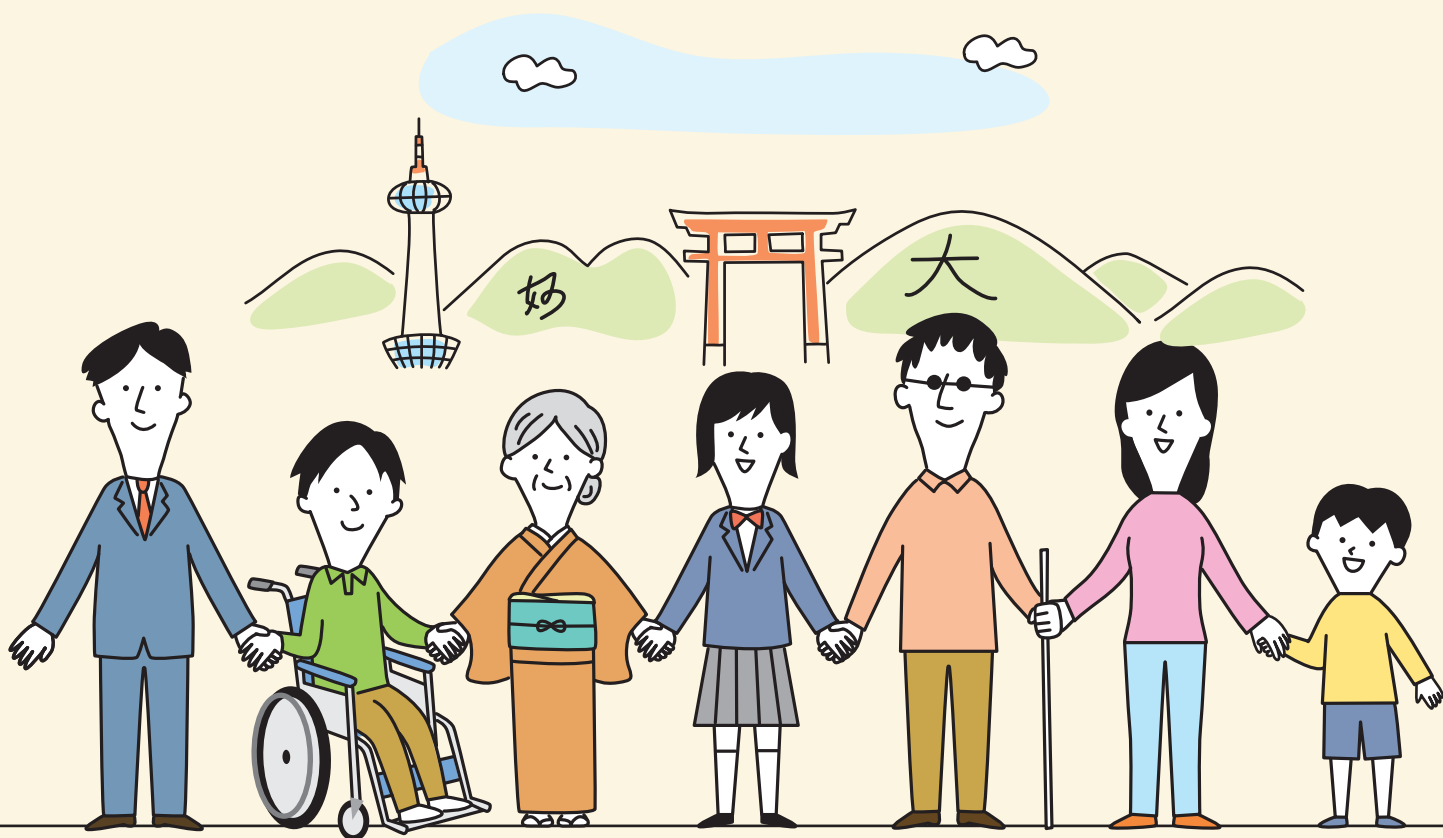
かんが かんが かんが かんが かんが かんが かんが かんが かんが かんが
考え方や取組について、誰にでも内容が理解できるよう、

わかりやすくまとめて紹介するために作成しました。

作成の際には、漢字にルビをふるだけでなく、

難しい言葉をわかりやすく言い換えたり、イラストも合わせて使用することで、

誰にでもわかりやすいものとなりました。



この計画について

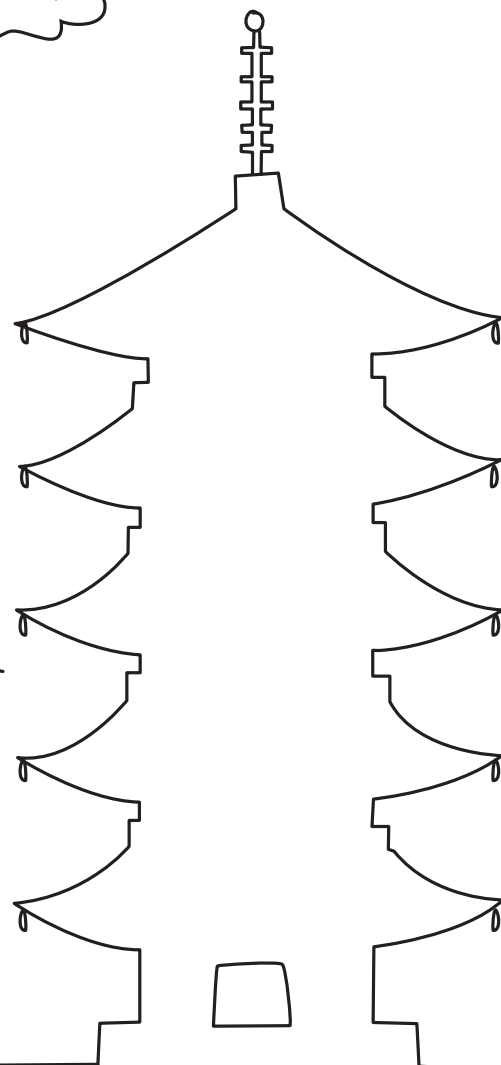
計画をつくった意味

- ➡ この計画は、障害のある人もない人もすべての人が、お互いをわかりあい、一緒に協力して暮らすことができる京都市をつくるために作りました。
- ➡ 「障害者差別解消法」という法律では、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害があることで差別することを禁止しています。障害のある人から、社会の中で困っていることを伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応することも求められています。
- ➡ 京都市では、今まで、障害のある人を手助けするため、福祉サービスのこと、健康に暮らすこと、働くことなど、たくさんの取組を行ってきました。

この新しい計画をつくることで、すべての人が暮らしやすい京都市を目指します。

計画の期間

- ➡ この計画は、平成30年度（2018年度）から平成35年度（2023年度）までの6年間に取り組むことが書かれています。



しょうがい ひと ひと ひと
 障害のある人もない人も、すべての人が
 たが
 お互いをわかりあい、いっしょ きょうりよく
 一緒に協力して
 く
 暮らすことができる京都市をみんなで
 つくります。

このような京都市をつくるために、次の5つの
 かんが かつ もと
 考え方に基づいて、とりくみ すず
 取組を進めます。

- ① しょうがい ひと
 障害のある人にわかりやすく情報を
 つた しょうがい ただ ち しき
 えたり、障害についての正しい知識を
 し じん ひろ
 市民に広めたりして、しょうがい ひと
 障害のある人が
 く
 暮らしやすいまちをつくります。
- ② しょうがい ひと す な ち いき
 障害のある人が、住み慣れた地域で、
 じ ぶん く
 自分らしく暮らすことができるようにします。
- ③ しょうがい ひと あんしん あんぜん
 障害のある人が、安心して安全に
 く
 暮らすことができるようにします。
- ④ しょうがい ひと せいかつ
 障害のある人が、「こんな生活をしたい」、
 はたら おも ねが
 「働きたい」という思いや願いを
 もてるようにします。
- ⑤ しょうがい こ
 障害のある子どもたちが、
 ひつよう て だす う
 必要な手助けを受けながら、
 しょうがい こ いっしょ まな
 障害のない子どもたちと一緒に学び
 せいちょう
 成長することができるようにします。

